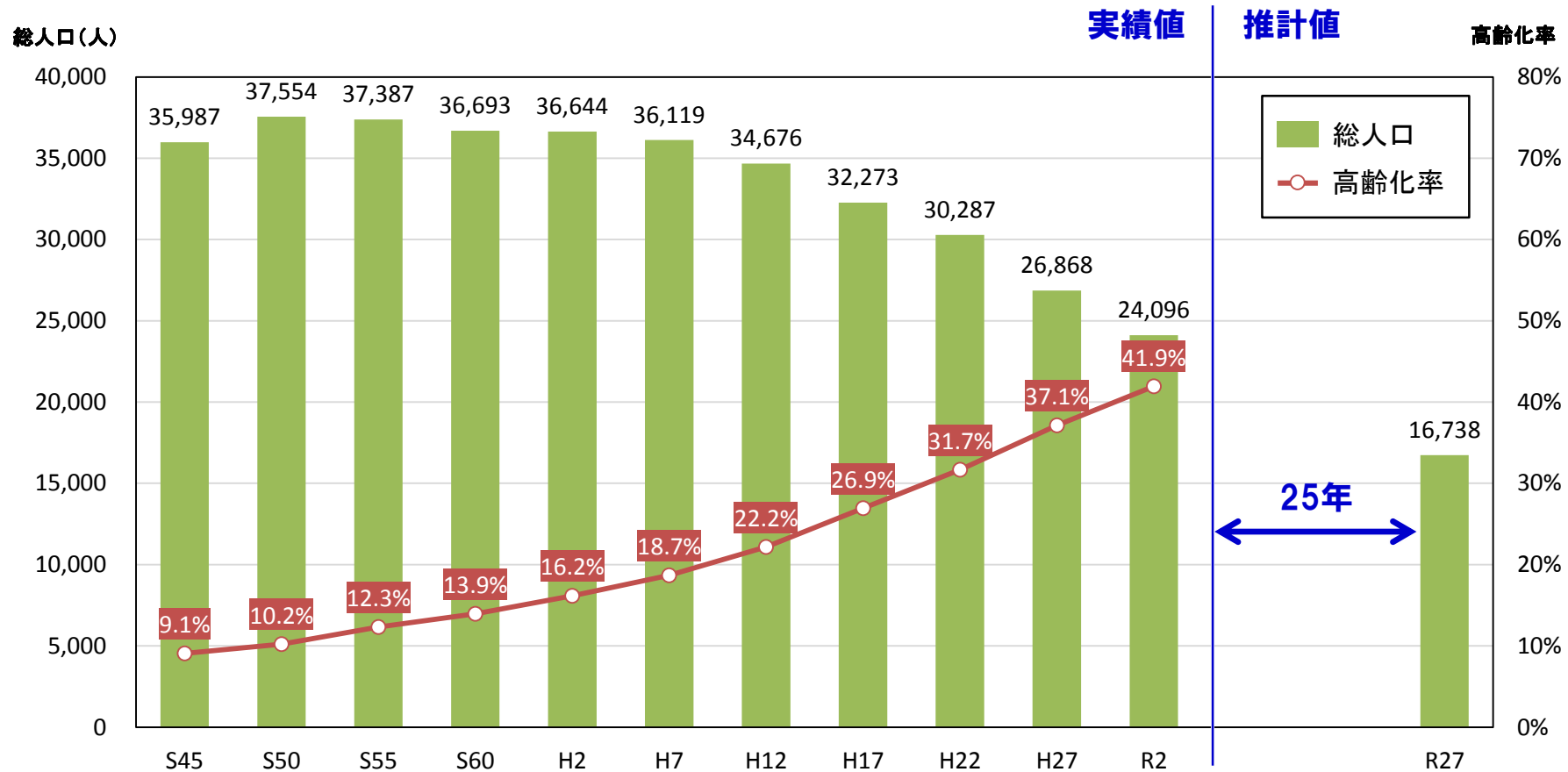


御所市の現状 (地域、交通)

1. 地域の現状 (1)人口の状況

1)人口推移

・御所市の人口は、昭和50年(46年前)の約3万8千人をピークに減少し、令和2年には約2万4千人となっている。今後、出生率の向上施策及び転出抑制策等により、令和27年(2045年)に約1万7千人を目指しています。



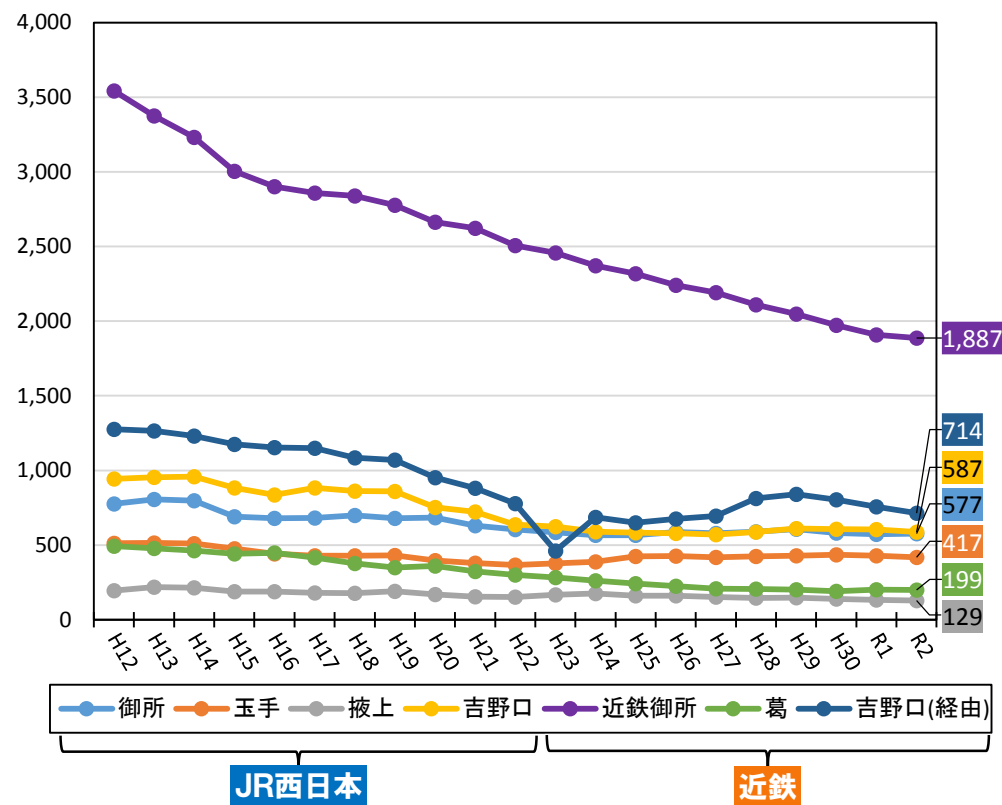
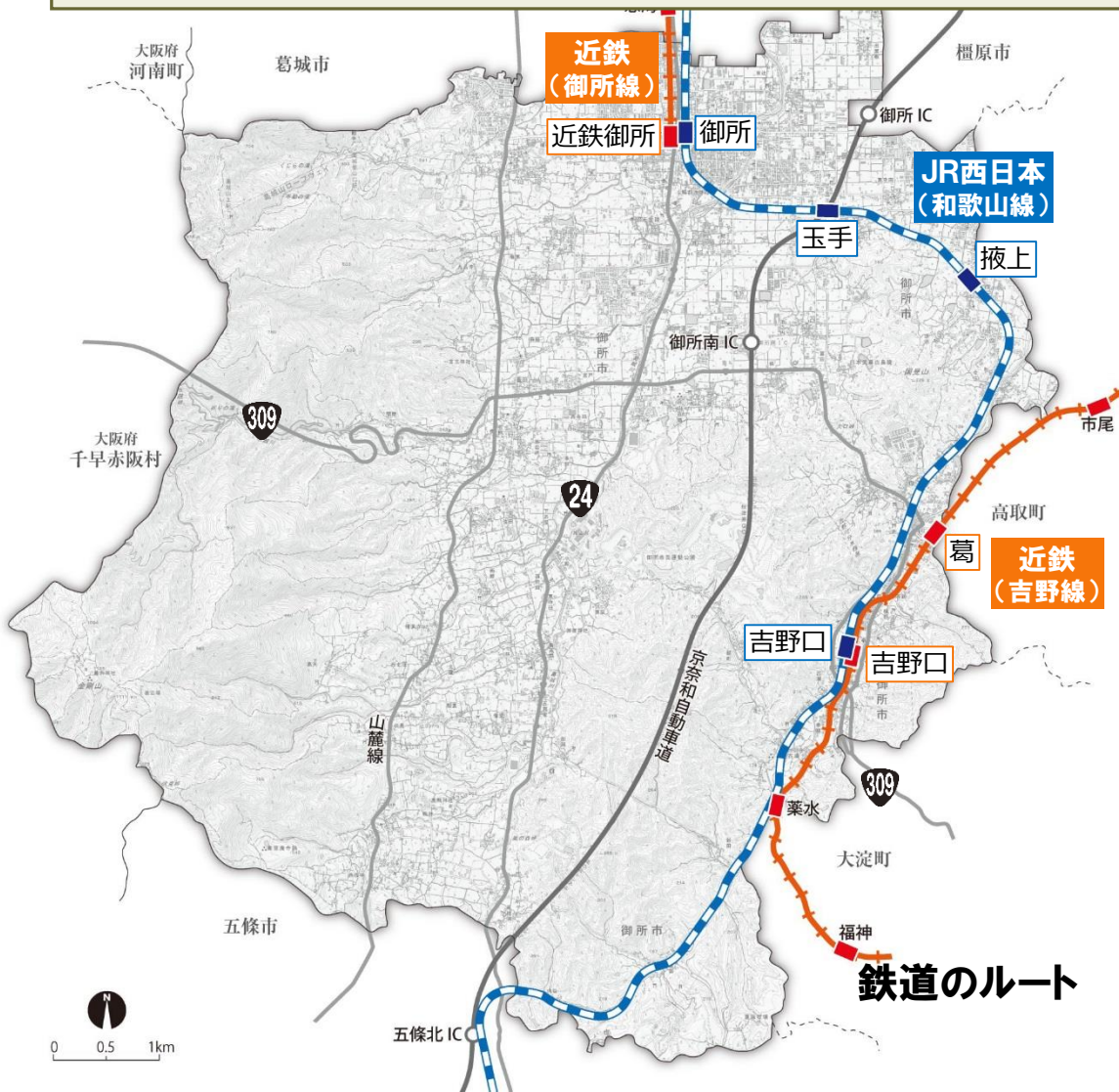
御所市の人口の推移

※出典: 令和2年までは国勢調査
令和27年は御所市第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略 (令和2年3月)

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

1) 鉄道の概要

- ・御所市では、「近鉄」と「JR西日本」の鉄道があり、近鉄は市北部と南東部を、JR西日本(和歌山線)は市東部を通過し、近鉄は3駅、JR西日本は4駅ある。
- ・市内の鉄道駅の乗降客数は、近鉄御所駅が1日あたり1,887人(令和2年)と最も多いが、20年前(平成12年)と比べると約5割まで減少している。



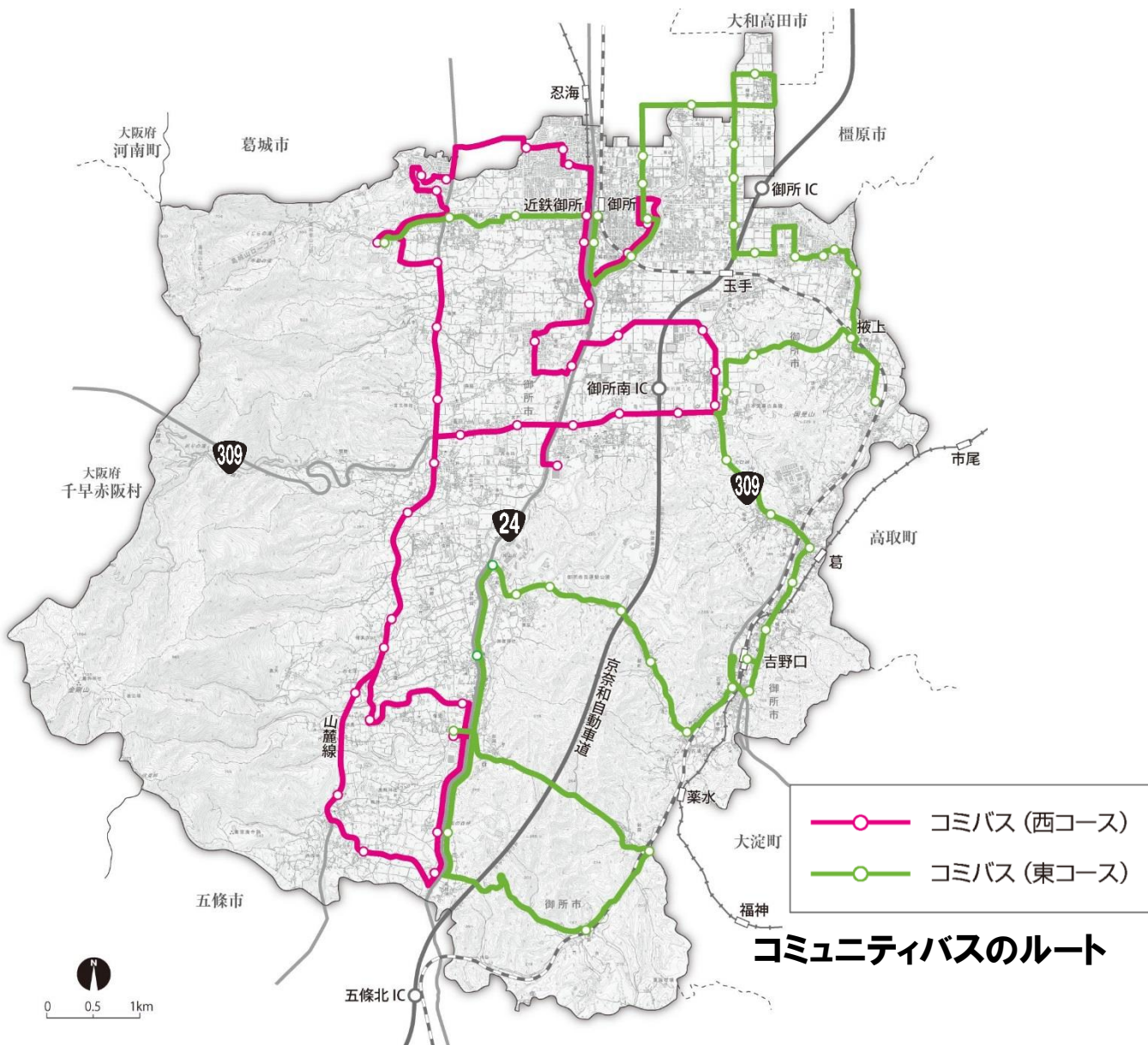
鉄道駅の乗降客数の推移

※出典: 奈良県統計年鑑

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

2)コミュニティバスの概要

- ・コミュニティバスは、市が交通事業者へ委託して運行している。
- ・主に市の西側(山麓線等)を運行する西コースと、市の東側を運行する東コースがある。



コミュニティバス

【運営主体】

- ・御所市

【運行日】

- ・毎日

【運賃】

- ・1人1乗車100円 (小学生以下は無料)

【運行便数】

ルート	平日
西コース	6便/日
東コース	6便/日
計	12便/日

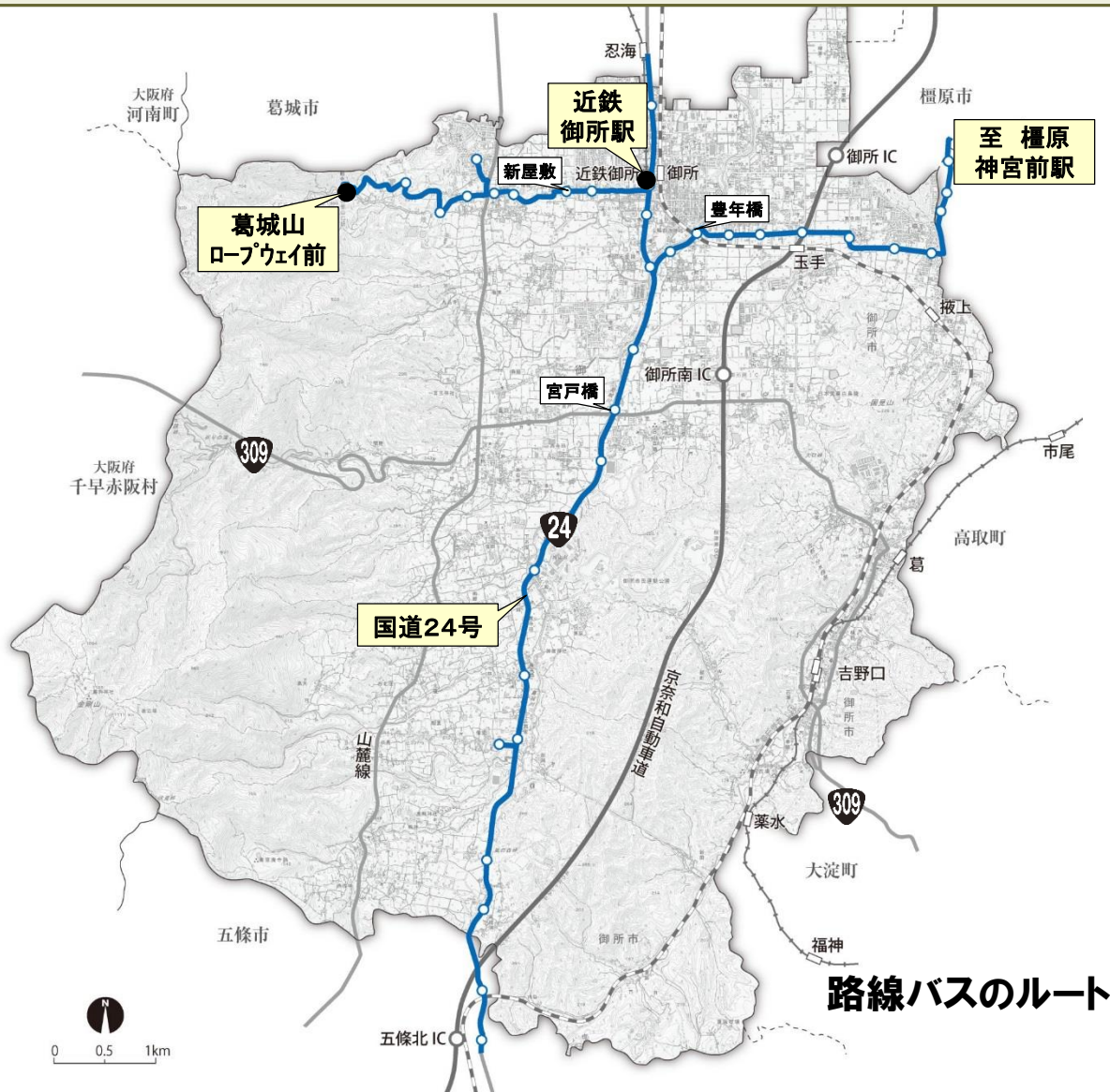
コミュニティバスのルート

※出典:御所市HP

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

3)路線バスの概要

- ・路線バスは「奈良交通」が運行している。
- ・主な運行ルートは、国道24号を南北方向に、1日30便運行する区間と、近鉄御所駅を起・終点に、西側の葛城山ロープウェイ前と東側の橿原神宮前駅の間で運行している。



【運営主体】

- ・奈良交通

【運行日】

- ・毎日

【運行便数】 ※平日の往復便数

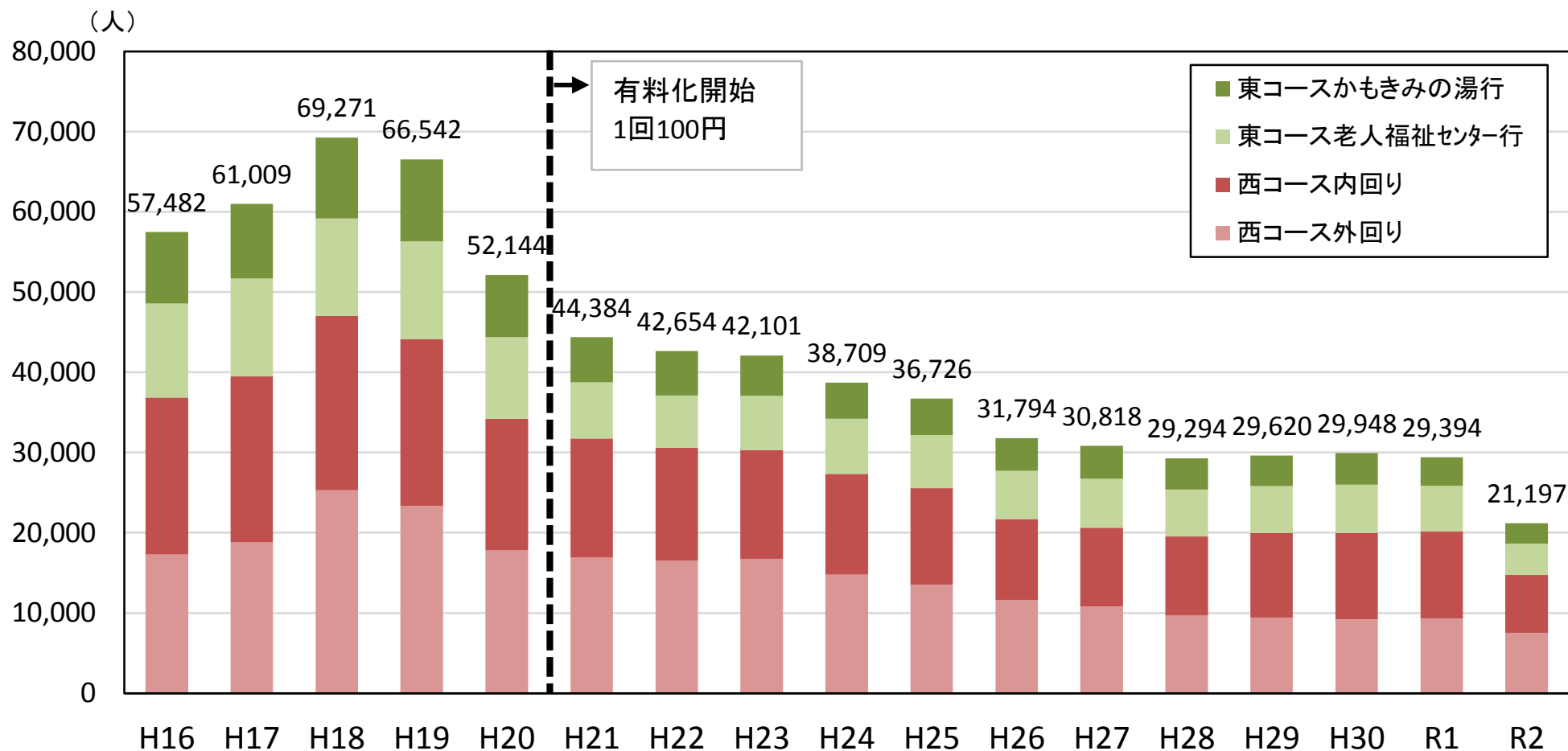
区間	便数
国道24号 (御所駅から南側) (宮戸橋バス停)	30便 (宮戸橋バス停)
近鉄御所駅～ 葛城山ロープウェイ前間	12便 (新屋敷バス停)
近鉄御所駅～ 橿原神宮前駅間	11便 (豊年橋バス停)

※出典：奈良交通HP、2021.7.3改正

2. 交通の現状 (2)公共交通の状況

4)コミュニティバス (利用者数)

- ・令和2年度のコミュニティバスの利用者は、約2.1万人であった。(コロナ禍のためR1より大きく減少)
- ・利用者数は平成18年度の約6.9万人をピークに減少しており、特に、平成21年度からの有料化(1人1回100円)により大きく減少した。



コミュニティバスの利用者数の推移